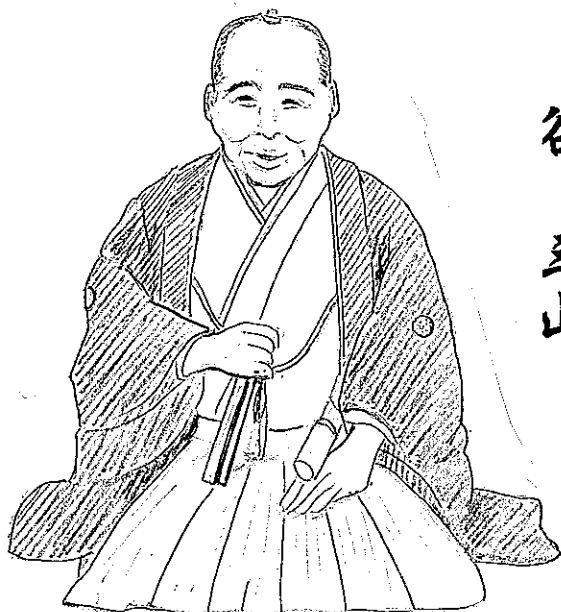


谷 三山
たに さんざん



高取に過ぎたるものが二つあり

山のお城に 谷の昌平

あくまで三山を尊敬する森田節齋は、こんな狂歌めいた一首を詠んだ。

二万五千石の高取藩に似合わぬほど良すぎるものが二つある。一つは山のお城で、もう一つは谷昌平（三山）という優れた学者が、高取藩の侍講（じこう）として存在することであるという意味だ。

山と谷と相対する言葉もおもしろいが、大きな城と、谷三山ひとりとを並び称するところに三山の偉大さが感じられる。

---谷 三山（一八〇二〜一八六七）---

大和国高市郡八木の人。諱（いみな）は操。通称 新助。後 昌平と改める。幼時目及び耳を病み、聴力を失ったが、読書、勉学倦むことなく、学識地方に著しく聞こえ、家塾を開いて子弟を薫育し、皇道、五常、忠孝を奨励した。後、高取藩主の聘（へい）に応じて出仕。藩治のために扶翼（ふよく）するところが多かった。「植村家教・家敬・家貴の三代に仕える」

晩年ついに明を失するに至ったが、意気毫も衰えず、文久三年在京の諸侯に尊皇攘夷の急務を献策した。また山陵の荒廃を歎じて修補に尽力した。

慶応三年十二月十一日病没、年六十六。大正六年正五位を贈られる。

猪飼敬所、森田節齋、頼山陽、吉田松陰等と交友あり。

---以上、「伝記 谷 三山」堀井義治著（昭和四十一年）抜粋

他に参考文献として
 「高市郡 郷土読本」（昭和十一年）
 「高市郡 志料」（大正四年）
 「高取町史」（昭和三十九年）

等があります。

夢創館ギャラリーのお知らせ

＊田 亜耶子 写真展
 「空と海と花と」

2006年5月2日（火）～7日（日）
 午前9時30分～午後4時30分
 （無料）

風景や植物を撮ることが大スキ！
 現在、日本大学工学部写真部に所属し、活動中。

くすり資料館 オープン！

4月9日（日）より 夢創館の蔵にて

～船倉弁天神社のオンダ（御田）～

丹生谷の奥山に鎮座する船倉弁天神社（ベンテンサン）では旧歴の三月十一日（現在の四月十一日）にオンダ（御田）が開催されています。牛の面をつけた世話方が代かきの動作を行い、神前に供えた杉の葉を苗と見立てて田植えをする御田植神事です。

昔は地元高取はもとより近隣の村々からも多くの参拝者があったようで、絵馬がたくさん奉納されています。この神事、近年は四月の第一日曜日（今年は四月二日の午前十時～）に開催されています。皆さんも一度この伝統行事、訪ねてみてはいかがでしょうか？